

RAID対応機種 ハードディスク交換手順書

2016年12月

YASKAWA 安川情報システム株式会社

0 はじめに

本資料は、RAID対応のNetSHAKER BlueRackにおいて、ハードディスクの故障が発生した場合の交換手順をま とめたものです。本資料の内容は、バージョンアップ等に伴い、予告無く変更する場合がございます。予めご 了承ください。



いずれかのハードディスクが故障した場合、速やかに復旧作業を行ってください。 もし、一方が故障したまま放置して運用されますと、もう一方が故障してしまった時点で、 システムの復旧ができなくなります。その場合、お客様にてバックアップを行われていない データは、全て消失します。

1 ハードディスクの構成

スロットの構成は、以下の図のようになります。

HDD1	HDD2	未使用	未使用

フロントパネルを外し、前面から見て、左から1番目が HDD1、2番目が HDD2 となります。

2 RAID 異常時の確認方法

RAID対応のNetSHAKER BlueRackにおいて、ハードディスクの故障が発生した場合には、以下の方法で確認で きます。

a. NetSHAKER BlueRack の管理画面の「アクティブモニタ」⇒「ディスクの整合性」でのアラート表示 NetSHAKER BlueRack の管理画面にて、「アクティブモニタ」メニューを選択すると、"ディスクの整合性"の左の 丸いボタンで状況が示されます。

赤の場合は深刻な問題が発生していますので、詳細の虫メガネをクリックして詳細画面を表示させてください。 ディスクの画像の上にカーソルをもっていきますと、ディスクの状況が表示されます。

HDD1の故障の場合

ハードディスク1に障害が発生しました。障害のあるハードディスクを交換してください。 障害のあるハードディスクは、サーバの正面に向かって左側にあります。

HDD2 の故障の場合

ハードディスク2に障害が発生しました。障害のあるハードディスクを交換してください。 障害のあるハードディスクは、サーバの正面に向かって右側にあります。

b. 管理者へのアラートメールによる通知

デフォルトでは、NetSHAKER BlueRack の管理者(admin ユーザ)宛に、ハードディスク異常発見のアラートメー ルが送信されますので、このメールを定期的にチェックしてください。

管理画面「アクティブモニタ」⇒「設定」において、"警告メールの送信先"の設定を行っている場合には、そのメ ールアドレス宛にアラートメールが送信されます。

- アラートメールの内容【例】

件彳	名:
	システム状態に関するお知らせ
本3	文:
	ご使用のサーバアプライアンスの動作状態に変化が生じました。
	詳しくは、「サーバ管理」画面の「アクティブモニタ」セクションをご覧下さい。
	状態変化の概要:
	* ディスクの整合性に深刻な問題があります。
	- ハードディスク1に障害が発生しました。障害のあるハードディスクを交換してください
	障害のあるハードディスクはサーバの正面に向かって左側にあります。

c. ハードディスクステータスランプ

フロントパネルを外し、ハードディスクのステータスランプの点灯状態を確認することで、ハードディスク異常を 発見できます。



ステータスランプが"赤色"で点灯している場合、そのハードディスクで故障が発生しています。



ハードディスクの故障内容によっては、ステータスランプが点灯しないことがあります。 その場合は、管理画面、および、アラートメールの内容から故障したハードディスクを特定し てください。

3 ハードディスク故障時の交換手順

交換用のハードディスクを準備し、以下の手順で復旧作業を行ってください。



ハードディスクの交換作業を行う場合は、必ず、以下の交換手順を厳守してください。手順を 間違えますと、正常なハードディスクのデータも消失する恐れがあります。充分にご注意の上、 作業を行ってください。

① 交換用ハードディスクの準備

交換用ハードディスクをお手元にご準備ください。交換用ハードディスクは、必ず、弊社よりお送りしたハ ードディスクをご利用ください。



市販のハードディスクや別筐体のハードディスクをご利用されますと、正しくシステム復旧が行うこと ができません。

② 故障したハードディスクの交換

ハードディスクの交換は、必ず電源 ON の状態で行ってください。故障したハードディスクを取り外して、 交換用のハードディスクを挿入してください。



電源 OFF の状態で交換用ハードディスクを挿入して起動した場合、正常に起動しません。 必ず正常なハードディスクで、NetSHAKER BlueRack を起動した後に交換を行ってくださ い。

故障ハードディスクの特定

「 2 RAID 異常時の確認方法」のいずれかの方法を参考に、故障が発生しているハードディスクを確認 してください。

HDD1が故障の場合

HDD1	HDD2	未使用	未使用
異常			

①ハードディスクのステータスランプが赤く点灯している故障ハードディスク(HDD1)を引き抜きます。 ②交換用ハードディスクを HDD1 に挿入します。 ③フロントパネルを装着します。

※ハードディスクの取り外し方法は、「NetSHAKER シリーズハードウェアマニュアル」を参照してください。

HDD2が故障の場合

※HDD2の故障の場合も上記と同様にハードディスクを取り外して、交換用のハードディスクを挿入して ください。

注意



正常なハードディスクは抜かないでください。正常なハードディスクを抜くと、システムが 停止し、復旧できなくなる可能性があります。

③ 同期処理の確認

ハードディスクの同期処理が開始しますと、その状態が NetSHAKER BlueRack の管理画面に表示されます。 同期処理の開始は、以下の 2 つの手段で確認できます。

a. NetSHAKER BlueRackの管理画面の「アクティブモニタ」⇒「ディスクの整合性」での確認

「アクティブモニタ」メニューを選択し、「ディスクの整合性」の詳細の虫メガネをクリックして詳細画面を表示させてください。"RAID の状態詳細"に下図のようなメッセージが表示されます。

RAID(Redundant Array of Independent Disks)の状態の詳細			
現在の動作状況	このシステムは 2 台のディスクを使ったディスクミラーリ ング (RAID 1) 用に設定されています。 データを1 台のハードディスクから別のハードディスクに 複製 (同期) しています。 0 % 完了		
最後に動作状況が変化した時刻	2012/12/14 09:51		

b. 管理者へのメールによる通知

管理者(admin ユーザ)宛てに、下図のようなメッセージが送信されます。("警告メールの送信先"の設定を行っている場合には、そのメールアドレス宛にアラートメールが送信されます。

```
・ アラートメールの内容【例】
```



詳細については、アクティブモニタのディスクの整合性エントリをご参照ください。



同期処理中は、NetSHAKER BlueRack本体の電源OFFや再起動を行わないでください。シ ステムが復旧できなくなります。 以下は、同期処理の完了までの目安時間です。ディスクの内容やサービスの稼働状態な どにより時間は異なります。 基本モデル[NAHN803Z](500GB):約3時間30分程度 基本モデル[NAHN805Z](500GB):約2時間程度 大規模モデル(1TB):約3時間程度です。

同期処理中も、NetSHAKER BlueRack は通常どおりご利用いただけます。

④ 同期処理完了の確認

ハードディスクの同期処理が完了しますと、管理者(admin ユーザ)宛てに、下図のようなメッセージが送信されます。 ("警告メールの送信先"の設定を行っている場合には、そのメールアドレス宛にアラートメールが送信されます)

・ アラートメールの内容【例】

```
件名:
システム状態に関するお知らせ
本文:
ご使用のサーバアプライアンスの動作状態に変化が生じました。
詳しくは、「サーバの管理」画面の「アクティブモニタ」セクションをご覧下さい。
状態変化の概要:
* ディスクは正常に動作しています。
- ディスクミラーリングは有効で、現在アクティブ状態です。
```

管理画面の「アクティブモニタ」メニューを選択し、"ディスクの整合性"の左の丸ボタンが緑に変わっていることをご確 認ください。

以上で、ハードディスクの交換作業は完了です。